



【成績評価の方法・基準・割合】		到達目標										評価方法別の比率(%)	
成績評価方法	評価基準	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
試験(定期試験/授業内試験)	到達目標①②③④についてのリテラシーおよび知的姿勢が身についているかを、期末レポートにより評価する。	10	30	20	20								80
小テスト等	セメスター中、数回行うリアクション・ペーパーにより、到達目標②に関わる基礎知識を評価する。		10										10
レポート等													
討論・発表等													
授業への参画度	授業中に質問や意見表明をどれだけ活発にしたかを基準に、到達目標③④にかかわる積極的な学修態度が身についているかを評価する。			5	5								10
その他()													
その他()													
その他()													
到達目標別の比率(%)		10	40	25	25								100

【課題に対するフィードバックの方法】
ポータル・システムを通して実施する。

【教科書・参考書等】					
書名	著者名	出版社名	発行年	種別	必要度
備考	使用しない。				

【オフィスアワー】
水曜日昼休み 研究室(本館8階) matsumoto.masakazu49@nihon-u.ac.jp

【実務経験を活かした実践的教育について】	
担当教員の実務経験の有無	無 実務経験の内容
実務経験に基づく実践的教育の内容	

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
1	イントロダクション及び導入講義	講義の内容や進め方、スケジュール、成績評価の方法等について説明し、履修者が授業の準備を具体的にできるようにする。また、政治的の市民として政治学を学ぶ意味と意義について考える。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、セメスター内の講義の全体像を把握すると共に、政治学を学ぶ意味と意義を認識できる。	
	事前学修	シラバスを読み、授業の目的や到達目標を理解し、授業計画にも目を通して来る。教科書各章の冒頭にある導入説明を読み、講義全体を概観する。	120分
	事後学修	シラバスの記載内容およびガイダンスでの説明をふりかえり、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。	120分
2	近代政治原理	自由主義・立憲主義・民主主義がどのように戦後憲法に反映されているかを確認する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	ニュース・新聞報道に触れる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分
3	近代政治原理前史	近代市民革命の背景として、中世から近世のヨーロッパ政治社会を概観する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	中世・近世について調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分
4	自由主義Ⅰ：個人の発見と政府の権威	ホブズの世界契約説を17世紀前半のイギリスの歴史状況とともに紹介する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	清教徒革命について調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分
5	自由主義Ⅱ：市民的自由と経済的自由	ロックの世界契約説を17世紀後半のイギリスの歴史状況とともに紹介する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	名誉革命について調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分
6	立憲主義Ⅰ：自然法の観念	アメリカ独立革命の政治思想的特徴を自然法の観念から概観する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	アメリカ独立革命について調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
7	立憲主義Ⅱ：権力分立の思想	アメリカ合衆国の建国と憲法制定の理念として、権力分立の概念を考察する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	三権分立について調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分
8	民主主義Ⅰ：身分制議会から国民議会へ	フランス革命において目指された人民主権の実際を、直接／間接民主主義の区別から分析する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	フランス革命について調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分
9	民主主義Ⅱ：ファシズムの経験	参政権・社会権の拡大に伴う民主主義の拡大と、それがもたらした正負の結果を概観する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	第二次世界大戦について調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分
10	戦前日本Ⅰ：明治維新から明治憲法まで	日本の近代化の特徴と、ヨーロッパの近代化との異同を説明する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	自由民権運動について調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分
11	戦前日本Ⅱ：議会主義の展開と挫折	大正デモクラシーを経て軍国主義に向かう戦前日本の経緯を振り返る。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	大正デモクラシーについて調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分
12	戦後日本Ⅰ：近代主義と戦後憲法	戦後憲法の政治思想的特徴と、丸山眞男ら「近代主義」者の思想活動を論じる。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	日本国憲法について調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
13	戦後日本Ⅱ：市民運動の時代	反基地闘争、安保闘争、学生運動に至る直接政治行動の時代とその趨勢を概観する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	高度経済成長期について調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分
14	「政治」についてどのように「学ぶか」	政治現象について分析するツールとしての政治学の多様な手法を、事例とともに概観する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、授業内容に関する政治学の基本知識について適切に理解し、説明できる。	
	事前学修	2016年米国大統領選挙について調べる。	180分
	事後学修	配付プリントを読み直す。	60分
15	期末総括	これまでの授業内容を総括する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、 Semester内の講義の全体像を総括できる。	
	事前学修	配付プリント全体を振り返る。	120分
	事後学修	授業全体を振り返る。	120分